

平成27年度施策評価シート

基本施策	快適に暮らせる環境を整備する		
総合計画での位置付け	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	分野	6	環境・衛生
主要な計画	・環境基本計画 ・地球温暖化対策地域推進計画 ・地球温暖化対策実行計画 ・地球環境保全行動計画 ・生物多様性ひだたかやま戦略 ・バイオマスタウン構想 ・生活排水処理基本計画		
基本施策を実施する背景や課題・目的	・本市における大気汚染や水質汚濁、騒音などの苦情相談件数は年々減少傾向にある。 ・本施策は、豊かで美しい自然のなかで、飛騨地域の中核都市として利便性の高い都市的サービスを受けながら安全で快適な暮らしを実感できる「すみよさ」のあるまちづくりをすすめるため、快適に暮らせる環境を整備することを目的としている。		

1 概要

施策	施策の内容	これまでの取り組み	担当局
1 生活環境の保全	環境に対する意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> 毎年11河川の水質調査及びカワゲラウォッチングを実施し、環境に対する意識の高揚を図った。 空間放射線量率の測定結果の公表や酸性雨調査を実施し、安全性を確認した。 	環境政策
	市民・事業者・行政が一体となった実践活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 快適環境づくり市民会議が中心となってグリーンマーケットやクリーン作戦などの実践活動を行った。 	環境政策
2 地球環境への負荷の低減	地域特性を活かした再生可能エネルギーの有効活用についての検討	<ul style="list-style-type: none"> 市内における再生可能エネルギーの賦存量や利用可能量の調査を行い、その利用拡大を進めるための方針(高山市新エネルギービジョン)を策定した。 方針策定とともに、国県などの事業を活用し、公共施設などへの積極的な再生可能エネルギーの導入を行った。 自然エネルギーによるまちづくり検討委員会において市内における自然エネルギーの普及拡大に向けて議論した。 高山エネルギー大作戦による市民・事業者への自然エネルギー導入の普及啓発を行った。 	環境政策部
	地球環境問題に対する意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> 新エネ、省エネ等に関する情報を「広報たかやま」に連載記事として掲載したり、講演会を開催し市民、事業者の意識高揚を図った。 夏休みの自由研究の一環として市内小中学生に「エコワット」「CO2カルク」の省エネ機器を貸し出し、地球温暖化対策の普及啓発を行った。 	環境政策
	身近でできる実践活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市民、事業者が身近で取り組める地球温暖化対策(エコドライブ、エコオフィス、グリーン購入、太陽光発電の導入、木質バイオマスの利用の推進等)を行った。 	環境政策
	環境に配慮した住宅建築の促進	<ul style="list-style-type: none"> 住宅エコ推進事業により、省エネ基準を満たす住宅の新築やリフォームに対する補助を実施し、環境配慮型住宅建築を促進するとともにエコモデル住宅による普及啓発を図った。 平成21年度から、地域材を使用した住宅建築を支援する「匠の家づくり支援事業」を実施し、木材使用の推進を通じた森林整備の推進に取り組んだ。 	環境政策 農政部
	木質バイオマスの利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマス活用促進事業により、ペレット・薪ストーブやペレットボイラー、ペレット燃料の購入に対する補助を行うことで、木質バイオマスの利用促進を行った。 	環境政策
	環境に配慮した公共施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度に「高山市環境配慮型公共施設整備指針」を策定し、市の公共施設の新築、改築時において環境配慮手法の積極的な採用を行った。 	環境政策
3 公害の発生防止	公害に対する相談や公害発生源事業者への指導	<ul style="list-style-type: none"> 騒音、振動、悪臭、水質汚染などの苦情に対し、相談を受けるとともに、その発生源となった事業者等に指導を行い、公害発生の抑制を行った。 	環境政策
	アスベスト除去に対する助成	<ul style="list-style-type: none"> 広報たかやまや市ホームページ、補助チラシなどを活用し、アスベスト対策の補助制度の周知を行った。 吹付け建材が施工されている建築物の内で、アスベスト含有の恐れがある建築物や、アスベストの含有がある建築物の所有者に対して意向調査を実施し、除却工事につなげる取り組みを行った。 	基盤整備

4	公衆衛生の向上	ア	関係機関と連携した公衆衛生思想の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 市健康づくり推進協議会主催による市民健康まつりを開催し、関係機関と共に公衆衛生や保健予防について普及啓発を行った。 飛騨口腔保健協議会と連携し、口腔保健講演会や8020運動達成者表彰を実施することにより、口腔衛生や歯科保健の向上に向けた知識の普及啓発を図った。 	市民保健部
		イ	公衆便所の整備や管理	<ul style="list-style-type: none"> 日和田公衆便所と久々野駅前公衆便所を新たに整備した。 秋神温泉公衆便所の建替えを行った。 鈴蘭高原公衆便所は老朽化し、利用者が少ないため廃止した。 快適に公衆便所が使用できるよう、定期的な清掃を実施した。 	水道部
		ウ	火葬場施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 現在ある火葬場の機能保持のため、計画的な修繕を行った。 新火葬場建設の最終候補地を選出し、地元住民に対し説明会を開催した。 	市民保健部
		エ	市営墓地の管理	<ul style="list-style-type: none"> 通路清掃や草刈、支障木の伐採など随時対応。宇津江墓地については、定期的にトイレ清掃を実施した。 空き区画について6月と11月の年2回使用者の募集を行っている。 宗猷寺墓地水路を整備した。 	財務部
		オ	公衆浴場の設備改善に対する助成	<ul style="list-style-type: none"> 公衆浴場のボイラーや浴場設備、省エネルギー設備の改善に対する助成を行った。 公衆浴場利用者数の増加を図るため、広報たかやま等により市公衆浴場組合が実施される事業の周知を行った。 	市民保健部
		カ	畜犬の登録や狂犬病の予防注射の実施	<ul style="list-style-type: none"> 犬の登録及び狂犬病予防注射済票の交付を実施(一部の事務は高山・飛騨市内の開業獣医師に委託)した。 毎年4～5月に市内各地の公民館等で、狂犬病予防集合注射を実施した。 ペットの飼い主のマナー向上を図るため、広報たかやまや市ホームページ、ヒッツFM等による周知や、マナー啓発看板の設置を行った。 	市民保健部
5	対し策尿処理	ア	し尿処理施設の管理	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に設備の修繕を行い、施設の長寿命化を図った。 し尿処理施設の機能検査及び処理水質の検査を行い、施設が適正に稼働しているか確認を行った。 	水道部

2 指標の推移

指標名	単位	関連施策	好ましい方向	H21	H22	H23	H24	H25	H26	目標
水質調査地点数	箇所	1-ア	→	25	18	19	19	19	19	19
カワゲラウオッチングの参加者数	人	1-ア	→	76	88	29	73	60	91	60
グリーンマーケット参加者数	人	1-イ	↑	3,000	2,000	2,000	2,000	1,300	700	2,000
クリーン作戦参加者	人	1-イ	↑	202	210	220	120	120	100	100
太陽光発電導入に対する補助実績	件	2-ウ	↑	-	-	61	120	61	48	125
公用車への次世代自動車※保有台数(※電気自動車、PHV)	台	2-ウ	↑	-	-	1	3	6	6	6
住宅エコ補助の実行件数	件	2-エ	↑	-	1,249	1,810	1,559	1,665	394	1,920
高山エネルギー大作戦フォーラムへの参加人数	人	2-ア	↑	-	-	-	-	450	300	500
ペレットストーブ等導入台数	台	2-オ	↑	108	97	98	82	92	79	106
(匠の家づくり支援事業せいどによる)建築棟数	棟	2-エ	↑	38	76	63	74	117	108	117
市産材利用率	%	2-エ	↑	-	-	59	82	92	98	90
公害発生源者への指導	件	3-ア	↓	26	35	38	37	62	53	
アスベスト含有調査件数	件	3-イ	↑	4	6	10	2	2	3	8
アスベスト除去等件数	件	3-イ	↑	1	1	1	2	2	1	2
アスベスト除去等件数(累計)	件	3-イ	↑	1	2	3	5	7	8	7
公衆便所の設置数	箇所	4-イ	→	10	11	12	12	12	11	12
墓地通路の清掃	回/月	4-エ	→	1	1	1	1	1	1	1回/月
墓地使用者募集	回/年	4-エ	→	2	2	2	2	2	2	-
市民健康まつり来場者数	人	4-ア	↑	1,800	2,000	2,200	2,400	2,200	2,400	2,500
公衆浴場設備改善対策事業費補助件数	件	4-オ	↑	3	3	5	4	4	3	4
狂犬病予防注射接種率	%	4-カ	↑	83	82	86	85	91	88	88
し尿処理施設の設置数	箇所	5-ア	→	2	2	2	2	2	2	2
し尿処理施設不能件数	件	5-ア	↓	0	0	0	0	0	0	0

3 市民アンケートの結果

		現在の「満足度」		今後の「重要度」		市民満足度を高めるために改善等を行う優先度	
H21	点数	63.0	(平均) (54.6)	82.1	(平均) (79.7)	Ⅱ	やや高い
	順位	42施策中 5 番目		42施策中 17 番目			
H25	点数	60.4	(平均) (56.9)	79.3	(平均) (81.8)	Ⅳ	低い
	順位	43施策中 13 番目		43施策中 28 番目			
H27 (今回)	点数	60.5	(平均) (56.0)	78.0	(平均) (81.2)	Ⅳ	低い
	順位	43施策中 11 番目		43施策中 29 番目			

4 一次評価(担当部局による評価)

担当部局		財務部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
4	公衆衛生の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・道路清掃や草刈、支障木の伐採など随時対応した。 ・広報たかやまを活用したマナー啓発により、ゴミの放置が少なくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路清掃や草刈、支障木の伐採など継続的に行い、適正な管理を行っていく。

担当部局		市民保健部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
4	公衆衛生の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携・協力し、公衆衛生・保健予防の向上に向けた周知啓発を行った。 ・公衆浴場の経営安定化に向けた対策や、ペットの飼い主のマナーの向上や、狂犬病予防注射の接種率の向上を図っていく必要がある。 ・現在の市営火葬場については、適正に管理が行われている。 ・多くの市民が新火葬場の早期建設を望んでいるが、最終候補地に関する市民同意は、26年度までには得られていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆浴場など衛生施設における衛生水準の向上やペットの飼い主のマナー向上により公衆衛生環境を確保する。 ・現在の高山市営火葬場について、新火葬場の建設も考慮しながら必要な維持改修を行う。 ・新火葬場について、市民への情報提供を行いながら建設地決定、早期建設に向け着実に進めていく必要がある。

担当部局		環境政策部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
1	生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の水質調査やカワゲラウオッチングを実施したことによって、水質に関する市民の関心が向上した。 ・快適環境づくり市民会議が中心となってイベントを実施し、生活環境や地球環境に対する意識の高揚を図った。 ・原発事故以降、放射線に対する市民の関心が高いことから、空間放射線量率と土壤中放射性物質調査を実施し、安全を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も河川の水質調査やカワゲラウオッチングを実施し、市民や子どもたちの水質に関する意識の高揚を図る。 ・快適環境づくり市民会議が中心となって環境啓発イベントなどを実施する。なお、引き続き同会議の新会員を募集するとともに、同会議の活性化を図る。 ・今後も継続して空間放射線量率及び土壤中放射性物質調査を実施し、安心・安全な生活環境を保全する。
2	地球環境への負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の再生可能エネルギー賦存量や利用可能量の調査を実施。その調査結果をもとに新エネルギーの導入を促進するための方針「高山市新エネルギービジョン」を策定した。 ・省資源や環境保護などの環境活動への取り組みや再生可能エネルギーの普及にあたっては、行政だけでなく、市民、事業者が率先して取り組む必要があることから、そのための普及啓発が必要である。 ・平成22年度より、住宅エコ推進事業を実施し、国の住宅エコポイントを活用した新築・リフォーム工事に対して補助を実施した。 ・平成24年10月より、高山市独自で省エネ基準を満たす住宅の新築・リフォームに対する補助制度を実施し、環境配慮型住宅の建築を促進しているとともにエコモデル住宅による普及啓発を図ってきた。 ・平成21年度より木質バイオマス活用促進事業を実施し、ペレット・薪ストーブやペレットボイラー、ペレット燃料の購入に対する補助を行い、木質バイオマスの利用を促進してきた。 ・市は、市内の大規模事業者として、市民や事業者をけん引する環境のリーダーとして、各種事業への取組に対する環境負荷低減だけでなく、公共施設整備においても積極的な環境対策の推進が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、事業者、行政が一体となって省資源や環境保護などの環境活動に取り組んだり、再生可能エネルギーの導入や利用を推進するため、積極的な普及啓発の取り組みを行う。 ・エコドライブの推進、グリーン購入の推進及び次世代自動車の導入等市が率先して行う。 ・CO2排出量の削減、木質バイオマスの活用による循環型社会の構築をすすめるため、CO2削減効果が大きい大型ペレットボイラー等の導入を推進する。 ・「高山市環境配慮型公共施設整備指針」に基づき、引き続き、環境に配慮した公共施設の整備を行う。 ・高山エネルギー大作戦による自然エネルギーの普及啓発活動を市民や事業者による活動にシフトしていく。 ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会から出された提言により自然エネルギーの導入をすすめる。
3	公害の発生防止	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音、振動、悪臭、水質汚濁などに対する公害苦情に適切に対応し、その発生源となった事業所等に発生防止に向けた指導を行った。 ・未解決の案件については、各々指導協議等を行っているが、解決までに至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公害苦情に対しては、今まで同様適切に対応するとともに、発生源に対する指導をその都度実施する。 ・未解決案件が早期に解決するよう、発生源となっている事業者に指導するとともに、互いの理解を深めるため申立者と発生源者が情報を交換するよう導く。

担当部局		農政部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
2	地球 環境 の境 低へ	<ul style="list-style-type: none"> 匠の家づくり支援事業により、地域材を利用した住宅等の建築を推進し、利用間伐による間伐材の搬出に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 匠の家づくり支援事業を継続し、市産材を利用した住宅等の建築を推進し、市産材の利用拡大を図る。

担当部局		基盤整備部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
3	公 防 止 の 発 生	<ul style="list-style-type: none"> 広報たかやま、ちらし、市ホームページにて周知することによりアスベスト除去件数が増加した。 アスベスト含有のおそれのある建築物やアスベスト含有が確認されている建築物の所有者に対して意向調査及び制度の周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> アスベスト飛散対策が未実施の建築物所有者に対して、継続して制度活用を促す。

担当部局		水道部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
4	公 衆 衛 生 の 向 上	<ul style="list-style-type: none"> 日和田公衆便所、久々野駅前公衆便所など利用が見込まれる場所に公衆便所を整備した。 快適に公衆便所が使用できるよう、利用状況に応じた定期的な清掃を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修、修繕については、観光客などの動向を見極めるとともに継続して必要性の検討を行って行く。 快適に公衆便所が使用できるよう、利用状況に応じた定期的な清掃を継続して実施する。
5	し 尿 処 理 対 策	<ul style="list-style-type: none"> し尿処理施設の適正な維持管理と長寿命化を図るため、計画的に設備の修繕を行った。 し尿処理施設の機能及び処理水質の検査を行い、施設が適正に稼働しているか確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> し尿処理施設の適切な管理運営を継続して行っていく。 設備の更新を計画的に行っていく。

5 二次評価(企画課、総務課、財政課評価)

課題	今後の方向性
<p>主な課題としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境やエネルギーに対する市民意識の醸成が十分に図られていない。 ・火葬場(西洞町)の老朽化が進行している。 <p>といったことが挙げられる。</p>	<p>市民アンケートの結果、施策に対する現在の満足度は高く、今後の重要度は低くなっているが、自然エネルギーを有効に活用し、産業や雇用の創出など、暮らしの豊かさにつなげるまちづくりが持続可能なまちづくりであるということを確認し、従来の枠組みを超え、環境・経済・社会問題を一体的に捉えた新たな施策を展開する必要がある。特に、自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の検討状況を踏まえながら、市民、事業者、行政が一体となり、環境やエネルギーに対する市民意識の高揚を図るとともに、各種取り組みを早期に実施していく必要がある。</p> <p>また、火葬場(西洞町)の老朽化に対応するため、新火葬場の建設に向けた準備を着実に進めていく必要がある。</p>

6 外部有識者の評価・意見

七次総合計画における検証に対する評価・意見
<p>・安全で快適な「すみよさ」のあるまちづくりの施策の成果は十分に評価できる。しかし市民がこれらの計画や実施に対してどれ程知って暮らしているかについては、やや疑問が生じる。例えば、グリーンマーケットやクリーン作戦においても、目標指標には達しているものの、毎年同じ顔ぶれが見受けられるという現状であり進歩はない。現在の指標の良否は今後の検討の余地がある。</p> <p>・一つの課題に対しての「見える化」を今以上に考慮し、市民にわかりやすく伝える方法をとることが必要である。一例として、まち協や団体グループ等に随時参加して出前講座などを実施し、行政が市民にとって身近な存在となる必要がある。勿論市民側もこれに応えるべく協力して行動するのは当然の成り行きになるよう意識する必要がある。</p>

【参考】基本施策に関連する予算事業の分析・評価(平成27年度事業評価における担当課評価)

関連施策	事業コード	事業名	評価	事業費決算額(千円)	
			点数	H25年度	H26年度
1-ア、3-ア	41535	生活環境保全事務費	70	7,782	3,712
1-イ、2-ア、イ、ウ、カ	21800	環境政策推進事業費	60	10,847	7,918
2-ア、イ、ウ、カ	21825	地球温暖化対策事業費	70	38,106	329,753
2-オ	21810	木質バイオマス活用促進事業	50	9,001	7,967
2-エ	21815	環境共生型住宅建設促進事業費	90	35,114	33,511
2-エ	21821	住宅エコ推進事業費	40	366,429	110,687
3-イ	41435	アスベスト対策事業補助金	80	4,196	2,435
4-ア	41140	保健衛生関係事務費	100	383	2603
4-ア	41203	健康まつり開催事業費	80	508	420
4-イ	42100	公衆便所維持管理費	80	15,860	14,275
4-ウ	41600	火葬場管理費	90	43,865	45,016
4-エ	20820	市営墓地管理事業	70	1,335	4,014
4-オ	41125	公衆浴場設備改善対策事業費補助金	80	670	611
4-カ	41135	畜犬登録事務費	80	537	497
5-ア	42300	し尿処理施設管理事業	88	185,189	184,252

平均点	H25年度	H26年度
75.2	719,822	747,671